

現場・市民 目線で市政チェック。 「いいね！」あふれる大和に。

討議資料

発行元：小田博士後援会

平成27年8月 vol.002-2

後援会にご加入ください

おだひろし 大和市議会議員 元産経新聞記者

小田博士の 市政かわら版



待機児童、学力向上、投票率アップ…

6月議会で初の一般質問



6月22日の市議会本会議の一般質問で、初めて登壇しました。選挙戦で訴えてきた待機児童数の削減、学力向上、投票率アップなどの課題について市の方針・考えを質しました。

大木哲市長は、待機児童問題について、今年4月1日現在で25人まで減少させたことを説明したうえで、「できるだけ早期に待機児童ゼロの実現を目指す」と表明しました。

選挙管理委員会事務局長は、期日前投票所の増設に関し「中央林間周辺などの北部地域が考えられる。総合的に判断する」と説明。私が提案した「プッシュ型」の選挙情報発信の拡充についても積極的に取り組む回答をしました。

市側の答弁の要旨は以下の通りです。

【待機児童数削減】（市長、こども部長答弁）

○4月現在の待機児童数は昨年から大幅に減少して25人になった。平成25年度から26年度にかけて認可保育所の新設等を集中的に実施し、1000人を超える定員増をはかったことが大きな要因だ。今年度も認可保育所新設や認定保育施設の認可化等により400人以上の定員増をはかる。「保育コンシェルジュ」によるきめ細やかな利用者支援の取り組みを進めるなど、できるだけ早期に待機児童ゼロの実現を目指す。

○（認定こども園増加の方策について）本市では認定こども園への移行を希望する幼稚園に、施設整備や長時間預かり保育事業に対する補助を実施している。今後も、必要な支援を実施する。

【学力向上、全国学力テストの部分公開】（教育長答弁）

○（平成26年度の調査結果について）学力に関して多くの課題がみられた。学校における教員の指導はもちろん、学習習慣や生活習慣、学力の下支えとなる読書習慣等が大きく関係している。

○（全国学力・学習状況調査の部分公開を求める質問に対して）学校名は公表せず市全体の結果と分析を公表している。今後も現在の形を継続していくことが適切だ。

【投票率アップ】（選管事務局長、教育長答弁）

○（期日前投票所増設を求める意見に対し）中央林間駅周辺など北部が考えられる。総合的に判断する。

○（「プッシュ型」の選挙情報発信を求める提言に対し）本年度から、行政情報を自動配信するスマートフォン用アプリの導入を予定している。これらのメディアも活用し、積極的な情報発信に努める。

「九条の会」集会 後援取り消しの火付け役に

大和市と市教育委員会は6月25日、市民団体「憲法九条やまとの会」に対し、同13日に開催したイベントの後援名義を取り消す方針を伝えました。後援の事後取り消しは異例です。新聞やテレビ等で報じられたのでご存知の方も多いかと思えます。

私は、この問題の「火付け役」となりました。市・市教委が後援名義を出したことは適正だったかどうかを確認するため、13日のイベントを実際に傍聴。女性アイドルグループ「制服向上委員会」が唱和していた歌のなかに、「Ohズサンナこの政治、諸悪の根源自民党」「原発販売（略）悪魔になって営業、安倍総理」「（安倍総理は）エリート意識に利権好き、お父さんと同じ」など数多くの誹謗中傷があったほか、「本気で自民党を倒しましょう！」との呼びかけもあり、政治運動や反政府運動の色彩が濃かったことを、自身のブログなどで明らかにしました。自民党市議とともに、市側に抗議もしました。

日本は民主主義国家であり、憲法では表現の自由が認められています。制服向上委員会や憲法九条やまとの会が、どんな政治目的を持ったイベントを開こうと、公序良俗に反しない限り自由です。それ自体を否定するものではありません。ただ、政治的中立性を保つべき行政機関である市や市教育委員会が、そのイベントを後援するとなると、話はまったく別です。行政機関の後援名義は、イベントに一定のお墨付きを与えることになるからです。実際、主催者側は13日のイベントで、「市・市教委の後援をもらっている」と繰り返し強調していました。このような問題を放置しておけば、大和市は、特定の政治運動を応援している自治体と捉えられかねません。

別件で「表現の自由」が問題化するなか、一部で今回の件を誤解されている向きもありますが、私としては言論を封じる考えは全くなく、「行政機関は政治的中立性を守るべきだ」との観点で対処したことには御理解をいただきたく思います。

TBS、神奈川新聞…メディアに取り上げられました



この問題は新聞各紙、英字紙、スポーツ紙、テレビニュース、週刊誌などで取り上げられ、インターネット上でも、記事がヤフーニュースに掲載されるなど大きな反響を呼びました。

私自身、地元紙・神奈川新聞とTBS系ニュース番組「NEWS23」にコメントやインタビューが取り上げられました。週刊誌にも匿名のコメントが掲載されています。これからも、市政に関心を持ってもらえるよう、丁寧で分かりやすい発信に努めていきます。

◆プロフィール

昭和50年1月5日生まれ
大和市出身／上和田在住

昭和56年 高座みどり幼稚園卒園
62年 西鶴間小学校卒業
平成2年 南林間中学校卒業
5年 中央大学附属高校卒業
10年 上智大学経済学部卒業
26年 産経新聞社を自ら退社
27年 大和市議に初当選

◆市議会等での役職

環境建設常任委員、議会運営委員、基地対策特別委員、議会報編集委員、交通安全対策協議会委員、社会福祉協議会評議員

◆その他の活動

大和青年会議所、大和中央シティライオンズクラブ、大和市倫理法人会など

◆産経新聞記者（16年間）当時の職歴

東京本社・整理部→千葉総局（県営や県政）→社会部（文部科学省や司法）→政治部（首相官邸や自民党、公明党、民主党、防衛省など）

市政報告会

7月19日（日）夜、コミュニティセンター桜丘会館で、市政報告会を開きました。出席した甘利明経済再生担当大臣や藤代優也県議から、ご挨拶をいただきました。